

## 会 員 各 位

平成 18 年 10 月  
理 事 長 長村義之  
学術委員長 岡田保典

### 第 53 回(平成 19 年度)日本病理学会秋期特別総会 学術研究賞演説 (A 演説)、B 演説について(公募のお知らせ)

平成 19 年秋開催予定の第 53 回日本病理学会秋期特別総会における学術研究賞演説 (A 演説) と B 演説の応募内容は、以下の要件を満たすことといたします。

#### 学術研究賞演説 (A 演説)

- (1) 優れており、かつ蓄積された研究であること。
- (2) 原則として日本国内で行われた研究であること。
- (3) 内容に関する責任の明確な研究者による発表で、内容は共同研究によるものであっても発表者自身はそれを代表するものであること、従って単独名が望ましい。

#### B 演説

- (1) 症例報告または症例の蓄積による解析。

学術研究賞演説 (A 演説)、B 演説担当者として講演することを希望する会員は、下記の要領でご応募ください。

#### 記

#### 学術研究賞演説 (A 演説)

- (1) 応募資格：日本病理学会員でありかつ学術評議員による推薦を受けた者。ただし、応募者自身が学術評議員である場合、自薦で可とする。
- (2) 提出書類：
  - ・日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録 (800 字以内) などを記載し、推薦学術評議員の自署・捺印を受けてください。ダウンロードできない場合は、日本病理学会事務局までご請求ください。
  - ・講演内容に直接関係のある自著論文 20 編以内の一覧。
  - ・代表的な自著論文 5 編以内の別刷各 3 部 (コピー可)。
- (3) 提出先：〒113-0033 東京都文京区本郷 2-40-9 ニュー赤門ビル 4F  
社団法人日本病理学会事務局  
「学術研究賞演説 (A 演説) 応募抄録」と表記し、書留郵便により郵送してください。
- (4) 募集締切：平成 19 年 1 月 10 日 (当日消印可)

## B 演説

- (1) 応募資格：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。
- (2) 提出書類：
  - ・日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録（800 字以内）などを記載し、推薦学術評議員の自署・捺印を受けてください。ダウンロードできない場合は、日本病理学会事務局までご請求ください。
- (3) 提出先：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。「B 演説応募抄録」と表記し、書留郵便により郵送してください。
- (4) 募集締切：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。

以上

第 53 回日本病理学会秋期特別総会における学術研究賞演説（A 演説）、B 演説担当者は、平成 19 年 2 月の学術委員会において厳正・公明に選考し、同日の理事会での審議によって決定いたします。  
本件についてご質問がありましたら、日本病理学会事務局または学術委員長までお問い合わせください。

社団法人日本病理学会事務局：TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936  
学術委員長(岡田保典)：TEL 03-5363-3763 FAX 03-3353-3290

第 53 回（平成 19 年度）日本病理学会秋期特別総会  
 学術研究賞演説（A 演説）応募抄録

(ふりがな) 応募者氏名	日本病理学会 会員番号:		
所属		職名	
所属住所	〒 電話:                      Fax:                      電子メール:		
演題名			
選考用抄録（800 字以内）			
推薦学術評議員	印 日本病理学会会員番号: (自署、応募者自身が学術評議員の場合自薦で可)		

# 平成19年度学術研究賞(A演説)応募者履歴書

平成18年11月1日現在

(ふりがな) 応募者氏名		性別	男	女
生年月日	( 才)			
専門分野の キーワード	(3つ以内)			
学位および 病理関係資格等				
学歴(大学以降) および職歴				

## 学術研究賞演説（A演説）選考用関連論文一覧

20 編以内。著者は省略せず全員を記載すること。応募者に下線を付すこと。

記載例：

論文

1. Suzuki I, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Prognostic markers for invasive breast cancer. *Pathol Int*, 20; 175-180, 1985
2. 田中二郎, 鈴木一郎, 山田三郎, 伊藤四郎. 乳がんの予後因子. *診断病理*, 20; 175-180, 1985

著書

1. Suzuki I, Tanaka J: Prognostic markers for invasive breast cancer. *Histopathology*. (Ed) Yamada S, Ito S, Pathology Press, Tokyo, p.175-180, 1985
2. 田中二郎, 鈴木一郎: 乳がんの予後因子. *組織病理* (山田三郎, 伊藤四郎編集). 病理書院, p.175-180, 1985

第 53 回（平成 19 年度）日本病理学会秋期特別総会 B 演説応募抄録

演者氏名	(発表予定者に下線) 発表予定者の日本病理学会会員番号:
所属	
所属住所	〒 電話: Fax: 電子メール:
演題名	
選考用抄録 (800 字以内)	
推薦学術評議員	印 日本病理学会会員番号: (自署、発表予定者が学術評議員の場合自薦で可)